

メルボルン大学とシンポジウム「デジタルヘルス&医療AI」を開催

9月6日（金）に、HU-UoM Joint Research Workshops Fund 2024として保健科学研究院とメルボルン大学が共同ワークショップ「Advancing Digital Health & Medical AI」を開催しました。対面及びオンライン配信のハイブリッド形式で行い、日本やオーストラリアを中心に15か国から100名近くご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

本ワークショップでは、本学及びメルボルン大学による医療AIやデジタルヘルス研究の共有と今後の連携を目指

して「Current Status of Data Health」と「Digital Health and AI」の二つのセッションが行われました。セッション1では、本学の研究者2名とメルボルン大学の研究者3名により、日本のレセプトデータや健康調査を用いた研究や、医療従事者の臨床判断や意思決定を支援する医療AIアプリケーション開発、メンタルヘルス・アプリケーションのための自然言語処理の運用や課題について議論されました。セッション2では、本学の研究者3名とメルボルン大学の研究者2名により、生成AIの研

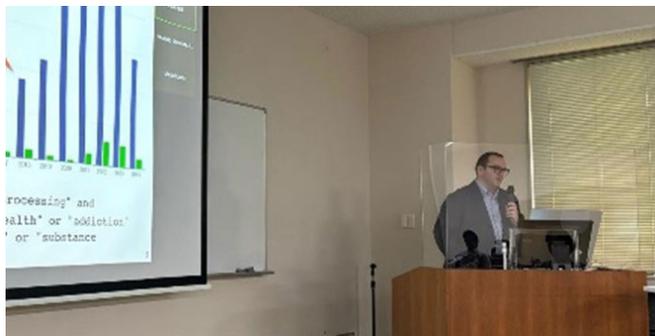
究動向や応用、AIによる医療画像診断技術、臨床現場へのAIモデルの導入と法・規制的な枠組み、日本語の医療言語処理の課題と進歩について議論されました。

ワークショップ終了後に行われた情報交換会では、研究アイデアの意見交換や将来の共同研究計画の議論が活発に行われ、有意義な時間となりました。今後の医療AI、デジタルヘルス分野における両校の連携が期待されます。

（保健科学研究院）



矢野理香保健科学研究院長からの開催挨拶



メルボルン大学のマイク・コンウェイ講師による基調講演



ディスカッションの様子



シンポジウム参加者による集合写真